

セルフヘルプ活動支援20周年記念事業

セルフヘルプ・グループの 可能性

参加費
無料

セルフヘルプ・グループの活動には、日常生活の中で生きづらさを抱える人が、共通の問題や仲間出会うことで、気持ちや情報を分かち合い、生きる力に変えていく作用があります。

専門職ではない、当事者同士だからできること。そのチカラや可能性について深掘りしていきます。

日時：令和5年11月13日(月)13：30～16：45（12：45開場）

対象：セルフヘルプ・グループに関心のある方、
支援者、対人援助について学ぶ学生など

定員：会場参加200名・オンライン参加100名（先着順）

会場：かながわ県民センター 2階ホール

（横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2）横浜駅西口・きた西口を出て徒歩約5分

【プログラム】（詳細は裏面をご覧ください）

- 記念対談
- セルフヘルプ・グループからのメッセージ
- シンポジウムとディスカッション

★セルフヘルプ・グループ1分紹介タイムもあります★

【お申込方法・問い合わせ先】

二次元コードもしくはURLから、Googleフォームにアクセスしてお申し込みください。

申込期限：令和5年11月2日(木)

<https://x.gd/vu6Qa>

・Googleフォームでのお申込みが難しい方は、かながわボランティアセンターにご相談ください。



《事務局/お問い合わせ先》(福)神奈川県社会福祉協議会 かながわボランティアセンター

TEL 045-312-4813 / e-mail kvc@knsyk.jp

令和5年度セルフヘルプ実践セミナー
セルフヘルプ活動支援20周年記念イベント



セルフヘルプ・グループの可能性

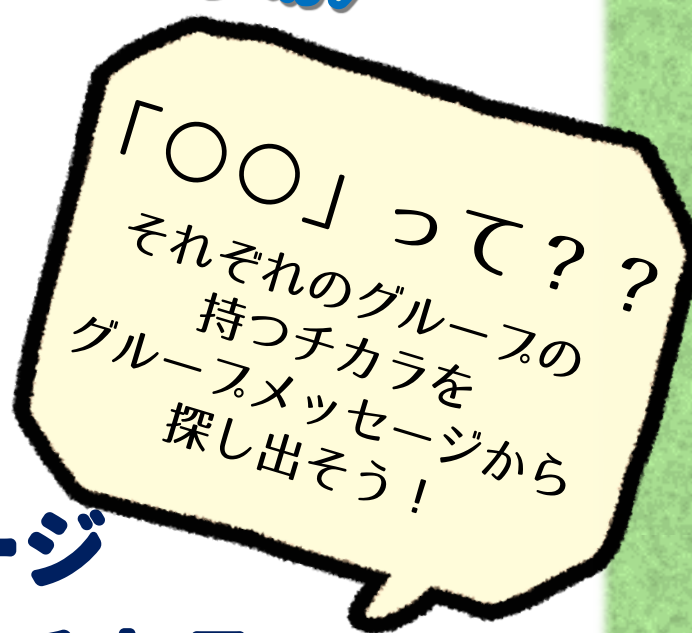
program

令和5年11月13日（月）
13：30～16：45
（12：45開場）

●記念対談

「セルフヘルプ・グループの可能性」

- 〈登壇者〉堀越由紀子氏(星槎大学共生科学部 専任教授)
臼井正樹氏(神奈川県立保健福祉大学 名誉教授)
〈進行〉中越章乃氏(東海大学健康学部 講師)



●セルフヘルプ・グループからのメッセージ

「セルフヘルプ・グループの持つ〇〇のチカラ」

- ① NPO法人あではで神奈川(発達障害を持つ子の親と成人本人の会)
- ② 被害者支援自助グループ「ピア・神奈川」(被害者・被害者遺族等の相談・支援)
- ③ AA※(広報活動実行委員会)(アルコール依存症からの回復をめざす本人のグループ)※AA:アルコールクス・アノマス
- ④ ひきこもり当事者グループ「ひき桜」in横浜(ひきこもり経験者による当事者団体)

●シンポジウムとディスカッション

参加者からの質問を交え、登壇グループのメッセージを深掘していきます。

★セルフヘルプ・グループ1分紹介タイム★

本会登録グループは、現在57グループ!

その一部のグループからの1分紹介タイムがプログラム内で発生します。



*セルフヘルプ・グループ(自助グループ)とは?

疾病や障害、依存症、精神障害、犯罪被害や遺族など、様々な生きづらさ、共通の課題を感じる方々が自主的につながり、共感の中で悩みを打ち明けたり、課題解決のために経験や情報を分かち合ったり、相談活動や社会に理解を広める活動を行うグループです。

